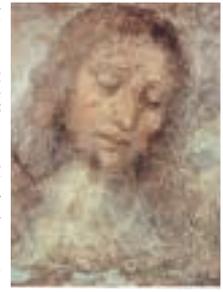


○ 展覧会イベント ○

千葉市美術館  
開館10周年記念 ミニノ展  
― 都市の芸術と歴史 ―

12月4日(日)まで



ミニノ市の全面協力を得て、同市に所在する美術館・博物館16館の所蔵作品の中から絵画・彫刻68点を展示。初期キリスト教美術から、レオナルド・ダ・ヴィンチなどのルネッサンスの名画、近現代美術まで幅広く含みます。

入館料：一般1000円、高校生700円、小学生以下無料／開館時間：10時～18時(金曜日は20時まで)／入館受け付けは閉館30分前まで／休館日：月曜日  
☎043(221)2501

国立歴史民俗博物館(佐倉市)  
うたのちから ― 和歌の時代史 ―  
11月27日(日)まで

今年、古今和歌集編纂1100年、新古今和歌集編纂800年にあたることを記念して、和歌が文化のみならず政治・経済などに幅広く「ちから」を発揮するさまを所蔵の絵画、衣裳、工芸品などで紹介。人間文化研究機構連携展示。  
入館料：一般420円、高校生250円、小学生110円／開館時間：9時30分～16時30分／入館受け付けは閉館30分前まで／休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

川村記念美術館(佐倉市)  
ゲルハルト・リヒター ― 絵画の彼方へ ―  
平成18年1月22日(日)まで

世界で今、もっとも大きな注目を集めているドイツの現代作家の40年にわたる画業を展観する日本初の回顧展です。

観覧料：一般1200円、高校生および70歳以上1000円、小学生400円／開館時間：9時30分～17時／入館受け付けは閉館30分前まで／休館日：月曜日(祝休日の場合は開館、翌日休館)  
☎043(4008)2131

航空科学博物館(芝山町)  
航空キッズアート展  
11月27日(日)まで

機体のデザイン、旅客機のスケッチ、飛行機の工作など、夏休みに応募いただいたすべての作品を展示します。  
入場料：一般500円、高校生300円、4歳以上小学生以下200円／開館時間：9時30分～17時／休館日：月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)

幕張メッセ(千葉市)  
幕張ジャンボフリーマーケット IN 幕張メッセ 国際展示場

11月19日(土)～20日(日) 10時～16時  
入場料：一般300円、小学生以下無料  
主催：リサイクル運動市民の会  
☎03(3326)6800(平日10時～12時、13時～16時)

国際会議場  
第1回 アジア太平洋気管支文芸会  
11月26日(土) 15時～

一般入場可。入場料20000円。※第46回日本肺癌学会総会(26日～27日)登録者は無料。  
主催：千葉大学大学院医学研究部胸部外科学  
☎043(252)7171

○ 千葉県文化振興財団 ○

千葉県文化会館(千葉市中央区)

川中美幸コンサート  
11月26日(土)14時／18時開演  
入場料 S：6000円 A：5000円  
B：3000円

プロジェクト・ブレイメン  
チャリティコンサート  
11月27日(日)14時開演  
出演：ブレイメンアンサンブル(千葉県少年少女オーケストラ)ほか  
入場料 全席自由：2000円

おしゃべりコンサート  
11月14日(土)14時開演  
入場料 全席自由：2000円  
出演：茂木つら、松美健太ほか

シャノンおもしろサロンコンサート  
〈第3回〉  
11月28日(土)14時開演  
入場料 全席自由：1000円  
出演：市野由美子、大原ひさのりほか



ファミリーシアター  
「しまじろう うみのだいぼうけん」  
11月29日(日) 12時30分15時開演  
入場料 全席指  
定：1300円

アリア・トークコンサート  
「フッチーニが恋したヒロインたち」  
「蝶々夫人」初演101年目の告白  
11月25日(土)14時開演  
入場料 全席自由：2000円  
出演：安藤由布樹、ウオフレ(二期)フロッグ  
活動千葉)ほか

県民合唱団による演奏会  
「ヘンデル メサイア」  
11月26日(日)14時開演  
入場料 全席自由：2500円  
出演：指揮：高橋利幸／管弦楽：ちば室内管弦楽団

青葉の森公園芸術文化ホール(千葉市中央区)  
宮沢賢治没後70年記念  
「ミュージカル『銀河鉄道の夜』」  
11月21日(土)15時開演  
入場料 S：4000円 A：3000円  
(学生各券1000円引)

千葉県東総文化会館(旭市)  
輝け郷土芸能 ― 和太鼓と民謡 ―  
12月25日(日)13時開演  
入場料 全席自由：1000円

東総ホールオペラ「魔笛」  
11月22日(日)13時開演  
入場料 全席自由：3000円  
出演：指揮：佐藤宏／演出：前川クニコ／ピアノ：村上尊志

民謡ふるさと祭り  
11月5日(日)14時開演  
入場料 全席自由：3000円  
出演：大塚文雄、小杉真貴子ほか

千葉県南総文化ホール(館山市)  
輝け郷土芸能 ― 和太鼓と民謡 ―  
11月19日(日)13時30分開演  
入場料 全席自由：5000円

南総オペラガラコンサート  
11月5日(日)14時開演  
入場料 全席自由：3000円  
出演：指揮：楠本英一／管弦楽：ニューフィル  
千葉

# 千葉県からのお知らせ

## ●県立病院公開セミナー

病気の予防や治療などについて、県立病院の医師が般の方にわかりやすく説明します。

＜日時＞11月29日(火)14時～17時

＜会場＞船橋市民文化創造館きららホール  
(JR総武線船橋駅から徒歩2分)

### ＜内容＞

①小児の予防接種について  
予防接種の制度などの紹介、ハイリスク児の予防接種について

講師：星野直(県子ども病院感染症科医長)

②小児先端医療の現状  
今の小児医療でできること、できないこと

講師：高柳正樹(県子ども病院医療局長)

③生活習慣病の予防と対策  
生活習慣病(高血圧、糖尿病など)、心臓病、脳卒中等の予防対策や治療などについて

講師：田代淳(県循環器病センター内科主任医長)  
宮崎彰(同センター循環器科部長)  
松田信一(同センター神経内科医長)

＜定員＞200人(申込先着順)

＜申込方法＞「公開セミナー申込」と明記し、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業を書いて、はがき、フアクスまたはEメールで申し込み(電話申込可)

【問合せ先】043-8660126(住所省略可)  
県病院局経営管理課  
043(242)2177 FAX 043(242)99999  
E-mail: byokeiei@mz.pref.chiba.jp

## ●11月は「ちば国保月間」です

国民健康保険は、病気やけがをしたときに経済的な心配をしなくても安心して医療を受けることができるよう、お互いに助け合う大切な制度です。しかし、この制度を支える保険料(税)の収納率は低下し続けています。

そこで、県では、11月を「ちば国保月間」と定め各市町村と連携して、県民の皆さんに国民健康保険制度のご理解と、保険料(税)の納付の促進に取り組んでいます。保険料(税)の期限内納付にご協力をお願いします。

## 【問合せ先】県保険指導課 043(242)2075

## ●秋季全国火災予防運動

11月9日(水)から11月15日(火)まで、「あなたで火のあるところの、見はり役をスローガンに、秋の全国火災予防運動が実施されます。この時季から冬にかけては、空気が乾燥する上、暖房器具の使用も増え、火災が大発生しやすいとなります。「火の取り扱い」には十分注意して、火災予防に努めましょう。」

## 《住宅防火 いのちを守る 7つのポイント》

- 1. 3つの習慣
- 2. 3つの習慣
- 3. 3つの習慣
- 4. 3つの習慣

○寝たばこは、絶対やめる。  
○ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。  
○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器等を設置する。  
○寝具や衣類からの火災を防ぐために、防災製剤品を使用する。  
○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。  
○お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

【問合せ先】県消防地震防災課  
043(242)2177

## ●全国三斉「女性の権利ホットライン」電話相談

夫による妻への暴力やセクハラ、ストーカーなどの女性を巡る各種人権問題について、全国三斉に人権擁護委員が相談に応じます。

＜日時＞11月20日(日)10時～17時  
＜会場＞千葉県人権擁護委員連合会「女性の権利ホットライン」担当者人権擁護委員(女性弁護士を含む)  
＜相談専用電話＞043(247)99992  
【問合せ先】千葉県人権擁護委員連合会  
千葉県地方務局人権擁護課内  
043(242)1319

## 「光とともに...」 — 自閉症児を抱えて —

戸部けいこ著/秋田書店刊  
(158ページ)

今回、ご紹介する本は漫画である。驚かれる方もいらっしゃるだろうが、この話は絵と会話で追っていくほうが、絶対わかりやすい。現実が、よくわかる。昨年、ニアレで放映された自閉症児の成長と生活を追った話の原作で、現在、8巻まで刊行されている。

ひと昔前まで、自閉症児は親のしつけの問題など、まちがったことが言われていた。今では、人との関わりを持つことの発達障害の一種とされており、母親の妊娠中の行動やしつけは関係ないことがわかってきている。しかし、世間の人はその子の行動を、その時だけ見て云々し、子どもの母親に辛い思いをさせてしまうことがしばしばある。



自閉症児だけでなく、いろいろな障害を持つ子どもも親が、どんな思いで公園へ行き、就学と乗り越えていくのか、その思いを少し理解するために、本書は親の気持ちに沿って描かれているのでわかりやすい。また、実際の教育現場で使われている教材の解説も話の中で語られており、教育環境についても少し知ることが出来る。

共に社会の中で生きていくには、互いに理解し合うことが必要——その一助になる本である。小児科医である私を含め、読んだ医師は「手慣れた医学書より、よほどわかりやすい」と絶賛しきりである。漫画と思つてあなどらず、ぜひ手にしてほしい。

【第17号の読者プレゼント当選者発表】(敬称略)  
■「ミレニアム」オリジナル目覚まし時計  
小高紀三郎(鎌ヶ谷市)・松尾桃子(八千代市)・青木敏子(市原市)・小倉和子(大栄町)・柴川博(市川市)  
■愛・地球博チャリティコンサート開催記念アルバム「川は甦れ」  
村山真弓(船橋市)・渡辺のり子(千葉市)・鈴木貞子(芝山町)・海保芳雄(成田市)・戸山和歌(我孫子市)  
個人情報保護のため、お送りいただいた「はがき」などは(社)千葉県医師会が保管をし、連絡の目的以外に使用することはありません。

次号(第19号)は平成18年1月末の発行予定です。

**ミレニアム 第18号**  
発行/社団法人 千葉県医師会  
〒260-0026 千葉市中央区千葉港7-1  
☎043(242)4271

## 愛読者プレゼント

- ①水森亜土さんの表紙絵(第15号)を文字盤にした「ミレニアム」オリジナル目覚まし時計を3名様に
- ②ニューフィル千葉「ニューイヤーコンサート」CDを7名様に

12ページに綴じ込みの「はがき」のアンケートにお答えください。応募者多数の場合は、抽選となります。なお、目覚まし時計は高さ約10センチ、乾電池(単3形)1本使用です。  
(応募締切りは平成17年12月26日・当日消印有効)

## 「ミレニアム」定期購読ご希望の方へ

本誌は年間4回の発行です。定期購読を希望される方は、送料のみご負担ください。送料は年間560円で、郵便切手(140円×4枚)を同封のうえ県医師会広報課へお申込みください。(住所は左記)